

両毛の威力

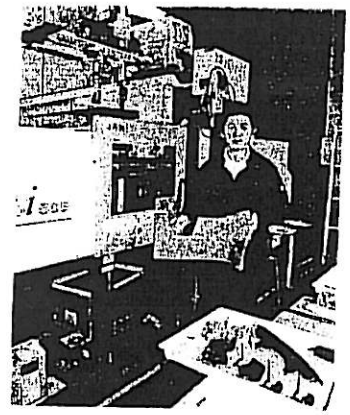
ベストテクニカル(栃木県足利市)はプラスチック部品成型の金型設計や試作品製作の分野で、取引先から頼りにされている企業だ。得意とするのは「型分割」や「ウェルドレス成型」と呼ばれる技術で、金型製作のコスト削減や短納期を実現する。車のエンジン回りやシートなど自動車関連部品の金型をアルミ材で製造し、大手メーカーや小諸の企業に納入している。

型分割は文字通り金型をいくつかに分けて作る技術で、ウェルドレス成型は樹脂を低圧で流し込んで成型加工する過程では、どうしても樹脂が生じて、樹脂に模様が生じたり、型にうまく流れなかったりする。型が壊れると強度面で支障をきたす恐れがあり、見た



金型製作で進化続ける

ベストテクニカル (足利市)



浪岡社長は独自技術と柔軟な発想で顧客ニーズに対応する

短納期やコスト削減

目も悪い。このため塗装し、模様を隠す工程が加わり、経費がかさむ。ウェルドレス成型は樹脂を低速低圧で流し込んだ後、再度、圧力を充てん

せることで、模様の発生や不完全な樹脂の流れを防止する。塗装の工程が省けるため、研究開発を欠かさない。同社がそこに力を注ぎ、創業四年目で味わった苦い経験があるからだ。

「固定観念から脱却し、柔軟な発想が大事」と浪岡社長は力説してやまな。同社は「型分割」というような凝り固まった職人的発想が、現在の日本のものづくりの伸び悩みの原因と見な

当時、栃木県内のある自動車関連企業からの仕事しか請け負っていなかった。会社を大きくしたいとの思いから受注をとりすぎて、納品が間に合わず、品質低下を招いて取引は打ち切られた。それを今も忘れることはない。同社の納入先が現在十数社に上るのも、その時の一社偏重の反省が生きている。

「固定観念から脱却し、柔軟な発想が大事」と浪岡社長は力説してやまな。同社は「型分割」というような凝り固まった職人的発想が、現在の日本のものづくりの伸び悩みの原因と見な

《会社概要》

設立	1995年
所在地	栃木県足利市駒場町4-1
売上高	約2億円 (2008年10月期)
従業員数	11人
製造品目	プラスチック成型金型の設計、試作品の製作など

栃木

浪岡工業株式会社

